

モズク浮き流し養殖試験

中村 勇次

1. 目的

現在、モズク養殖は、気象の影響で豊作・不作を繰り返しており、これがモズク単価の高騰・暴落を引き起こす原因となっている。今期は、特に前年からのモズク在庫のためにモズク単価が暴落しており漁家経営を圧迫している。今後、もずく養殖業を安定した漁業としていくためには、安定的な生産量を確保することが重要である。モズク浮き流し養殖については、事前調査として久米島において試験的に実施した所、1網あたりの収量が比較的增加した。また、その年は不作傾向の年であったため、浮き流し養殖は生育不良対策として有効ではないかとも思われた。前年度は、雑藻対策や後半のモズク生育が悪かったこと等が重なり、浮き流し試験への網の移行ができなかった。今年度は、前年度の反省を元にモズクの浮き流し養殖試験を行い、その効果を検証する。

2. 方法

モズク浮き流し養殖試験は、今年度も石川市漁協伊波モズク養殖グループに協力を依頼し、伊波氏の漁業権を利用して試験を行うこととした。浮き流し養殖は、網を1枚単位で浮かせる半浮動式浮き流し養殖と網を50~100枚単位で組み合わせて浮かせる全浮動式浮き流し養殖の2通りの方法を考えているが、モズク養殖前期は半浮動式浮き流し養殖、後期に全浮動式浮き流し養殖を試みることにした。

3. 結果

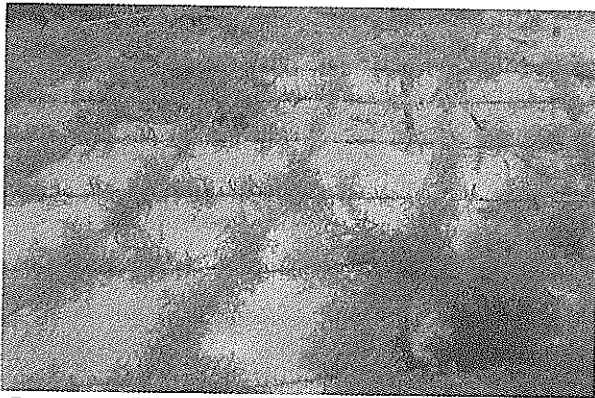
今期の試験を行うに当たって12月16日に伊波氏のモズク養殖漁場にて事前調査を行った。今期は、以前ワイヤーを張って浮き流し養殖を

試みようとした場所で地張りから本張り・浮き流し養殖試験を行うこととし、陸側の浅地である底質が砂の漁場は雑藻が繁茂することから使わないこととした。また、沖側のウール漁場は昨年からの芽出しは確認されるが、モズク網にウールが絡んで作業が大変であることや、波浪によりだいぶ地形が変形していたため作業能率を考えて今回は地張りを行わないことにした。伊波氏は、11月頃から普及センターが配布したオキナワモズクを培養していたため、種付けは12月中旬から培養と母藻により行った。12月末に種付け(1回目種付け)した20セット(100枚)の網を、1月初旬に以前ワイヤーを張っていた漁場に沖出し(1回目沖出し)した。1月中旬に種付け(2回目種付け)した20セット(100枚)の網を、1月末に同じくワイヤーを張っていた漁場に沖出し(2回目沖出し)した。1回目沖出しした網は芽出しが見られたため、2月末に本張りへ移行し、2回目沖出しした網では芽出しが見られなかったため、4月に全部(100枚)網上げした。1回目沖出しした網では、網によってばらつきはあったが順調に生育したため、3月末に網10枚について伸子棒を挟んで半浮動式浮き流し養殖へ移行した。4月中旬に網15枚を1セットにして全浮動式浮き流し養殖へ移行した。その後、浮き流し養殖に移行した網では、モズクが順調に生育し、伊波氏によると波浪等でも浮き流しにしているとモズクが切れにくいとのことであった。5月に入ってから、生育不良と芽切れが起こってきたため、伊波氏が急いで収穫作業に入ってしまったため、調査のスケジュールが合わず、5月中旬には全部の網について収穫を終了したため、試験を終了とした。

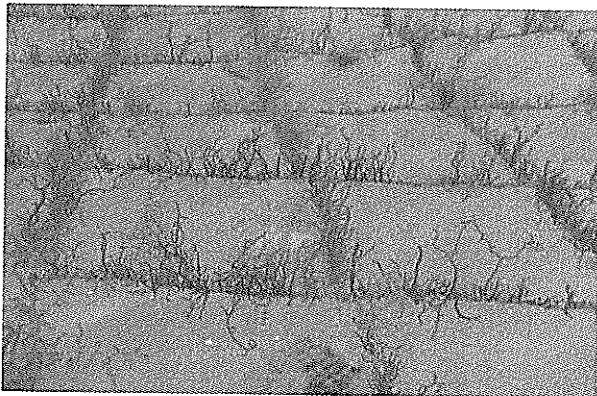
4. 考察

今回は、前回の反省を元に予定を立てて養殖試験を行ったつもりであったが、試験結果が不明のまま試験終了となった。モズクの芽出し状況が悪かったことや雑藻が多く網の状態が悪かったこと等の養殖技術に関わる要因もあったが、5月に入りモズクがどんどん芽切れしてしまい、漁業者が焦って収穫作業を済ませてしまったことから、今回は最終の調査がされないまま試験

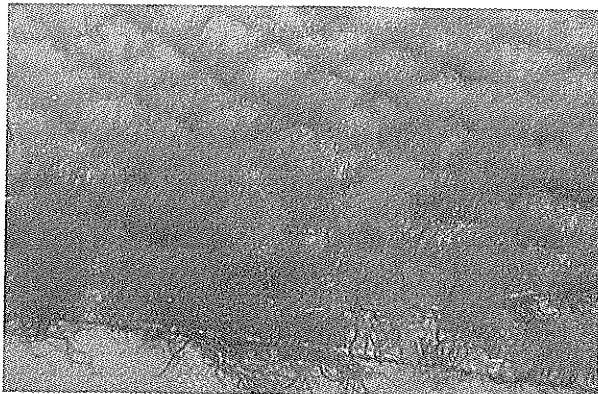
終了という形になってしまった。再度、連絡体制の確立や調査時の計測方法・収穫をヒビ建てと半浮動式で分けて行い、別々に計量すること等基本的な調査法の相互理解がされないまま養殖試験を行っていたために起こったことと思われるので、次回からは連携を密にし、漁業者と相互で試験計画を立てて養殖試験を行っていきたい。



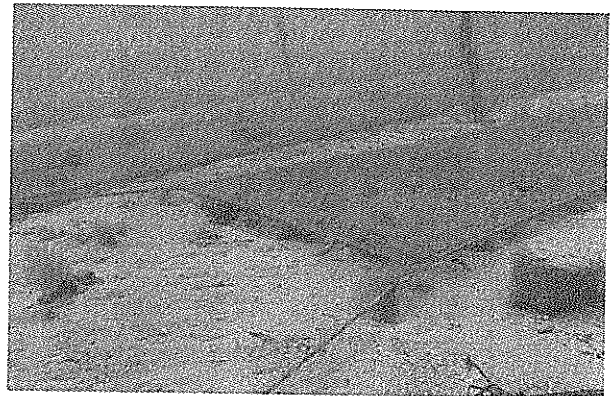
①1回目沖出しして本張りしてあるモズク網の様子。雑藻が多く見られる。



②1回目沖出し本張りの様子。芽出ししているが雑藻が繁茂している。



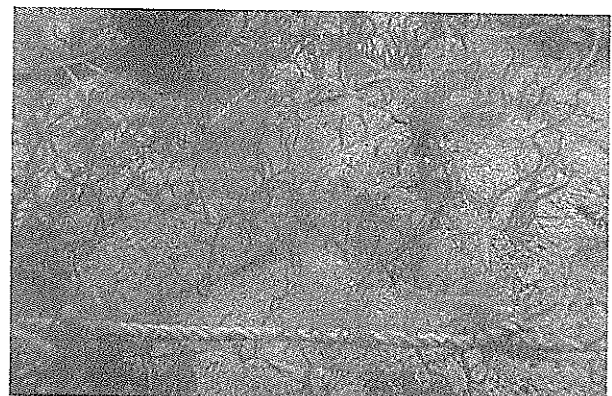
③1回目沖出し本張りでモズクが良く生えている網。モズクに混ざって白い雑藻が見られる。



④2回目沖出し苗床の様子。5枚1セットで地張りを行っている。



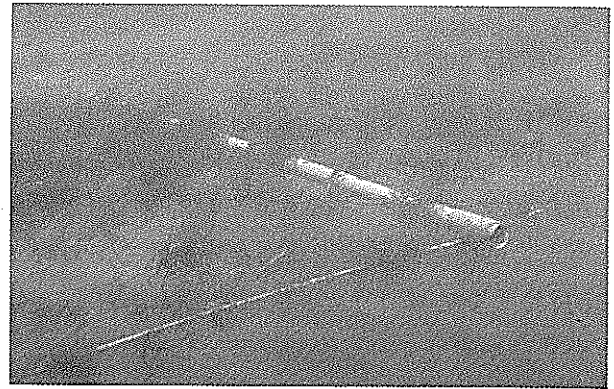
⑤2回目沖出し網の様子。雑草の繁茂が著しい。



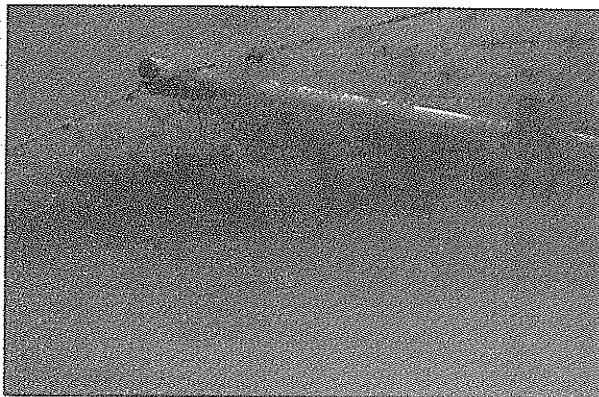
⑥2回目沖出し網の様子。場所によって多少芽出しが見られた。



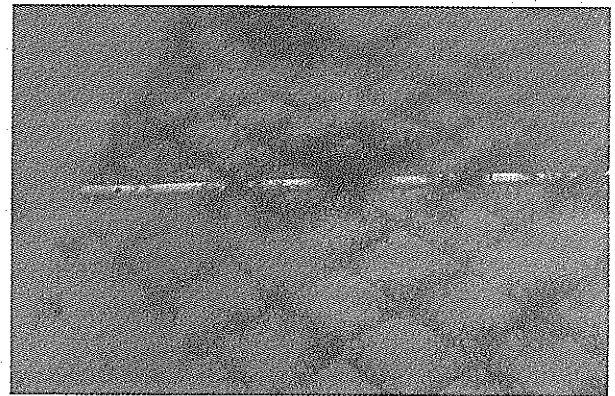
⑦3月末のヒビ建てモスク網の様子。



⑪4月初旬の半浮動式モスク網の様子。



⑧3月末に半浮動式に移行したモスク網の様子。



⑫4月初旬の半浮動式モスク網の様子。



⑨4月初旬のヒビ建てモスク網の様子。



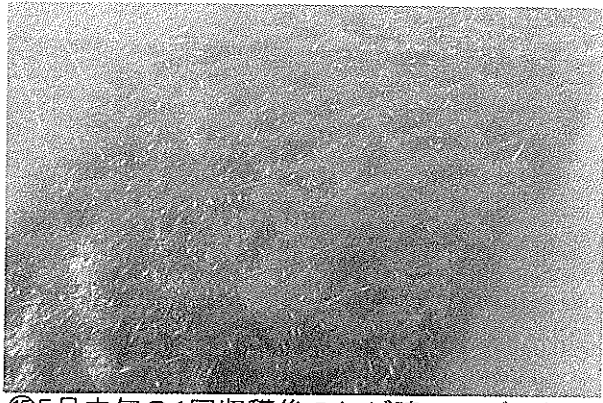
⑬5月中旬の収穫後の半浮動式モスク網の様子。



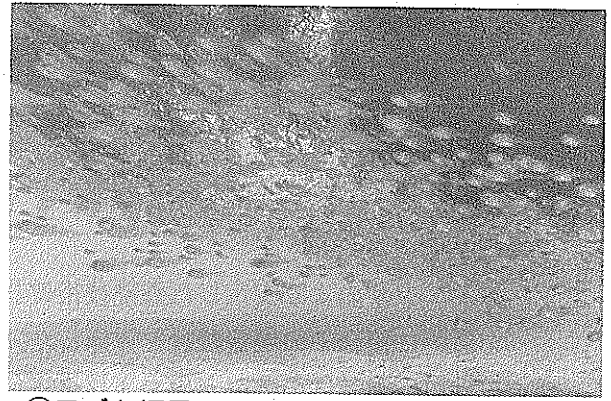
⑩4月初旬のヒビ建てモスク網の様子。



⑭5月中旬の1回収穫後にモスクが伸びてきた半浮動式モスク網の様子。



⑮5月中旬の1回収穫後のヒビ建てモズク網の様子。



⑯モズク網周辺に大量の魚の稚魚が見られた。